

傷穴角度が 35°以上の場合

内外面修理 (2ピース方式)



Instructions for Uni-Seal UltraStems

ユニシールシステム、ラジアルパッチを使用した内外面修理方式



- 注意事項**
- ①安全作業の為にゴーグル(安全メガネ)、防塵マスク、手袋を使用してください。
 - ②セメント作業の際には、換気の良い場所にて作業してください。
 - ③変形した工具類の使用はしないでください。
 - ④テック社以外のセメントを使用しないでください。
 - ⑤作業している近くでは、禁煙を厳守してください。
 - ⑥セメントは、本来の用途以外に使用しないでください。
- 警告**
- 下記の状態のタイヤは、修理できません。
1. 空気圧の低い状態であった形跡のあるタイヤ
 2. セパレーションを起こしているタイヤ
 3. スリップサインの出ているタイヤ
 4. コード及びスチール等が露出しているタイヤ
 5. ビード部分に損傷のあるタイヤ
 6. オゾンクラックのあるタイヤ
 7. 衝撃によるダメージのあるタイヤ



① バンクの原因である釘等を傷穴の方向を確認しながらゆっくりと抜きます。スリップサインが出ているタイヤや異常摩耗・引きずり痕・コード切れ等異常がある場合は修理できません。TRT105 メジャーツールで傷穴のサイズを測定し、修理材のサイズを選定します。タイヤ内部を点検し、セパレーションやサイド部にシワがある場合は修理できません。



② 704A スプレー式/ツッパ液を掛け、933 スクレーパーで傷穴周りの汚れやシリコンを取り除きます。これを2〜3回繰り返します。



③ 選定したユニシールシステムに応じたカーバイトカッターをS-1035 エアドリルにセットし、タイヤ内側より右回転で、タイヤ外側より同じく右回転で3回以上繰り返し回転してください。エアドリルは 1200 回転 / 分以下のものを使用してください。



④ 760 ケミカルセメントを 915 スパイラルツールにたっぷりつけて右回転にて傷穴にいれます。3〜5 回繰り返してください。セメントの乾燥を防ぐため、915 スパイラルツールは挿入したままにしてください。



⑤ ユニシールシステムのブルーポリをはがし、760 ケミカルセメントをグレークッションゴムに触れないように、黒いゴム部に塗布してください。



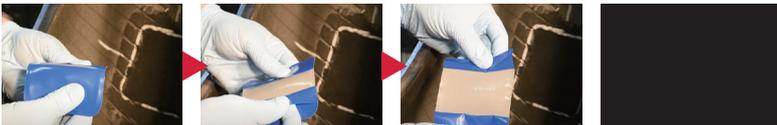
⑥ ユニシールシステムのリードワイヤをタイヤ内側傷穴より挿入し、タイヤ外側にリードワイヤが出ているのを確認し、プライヤー等でリードワイヤを引っ張り、黒いゴムを掴みゆっくり引っ張りだしてください。目安として、タイヤ内側に 3mm 程度残るように。



⑦ 選定した、ラジアルパッチより 15mm 程度大きめにマーキングし S-1036 低速エアバフパーを使用して、マーキングした内側をバフ致します。エアバフパーは 5000 回転 / 分以下のものをご使用ください。



⑧ S-893 ワイヤブラシを S-1036 低速エアバフパーにセットし右から左へ軽くバフし、パフリングダストを取り除きます。タイヤ内に残っているダストは S-999K エアスピックで吸い込み掃除してください。760 ケミカルセメントを薄くバフしたエリアに塗布いたします。乾燥時間は 3〜5 分です。乾燥のため、ドライヤー等は使用せず、自然乾燥させてください。



⑨ 選定した、ラジアルパッチの中央を折り曲げるようにしてブルーポリのミシン目を切り離し、パッチエッジ部にブルーポリが残るようにしてください。



⑩ パッチエッジ部に残ったブルーポリをもつようにして、グレークッションゴムの部分を指で押し、936 ステッチャーローラーをパッチ中央部から外側に向かって圧着します。



⑪ パッチエッジ部のブルーポリを横方向に取り除き、再度中央から外側に 936 ステッチャーローラーをかけ圧着し、透明フィルムを取り除きます。



⑫ 738 セキュリティコートにバフエリアとパッチエッジ部に掛かるように塗布いたします。乾くと黒くなりますが、黒くなるまで待つ必要がなく、ホイールとタイヤを組んでも問題ありません。エアチェックを行い、エア漏れ等なければタイヤトレッド部より 3mm 程度残してカットしてください。



ニッポン・テック・インコーポレイテッド
〒108-0074 東京都港区高輪2丁目21番43号 YCC高輪ビル5階
TEL 03(5462)7631 FAX 03(5462)7406